

閉会挨拶

南川 秀樹
環境省環境保健部長

第5回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウムの閉会にあたり、一言御挨拶を申し上げます。
まず、始めに、本シンポジウムにおいて御講演いただきました専門家の方々には、海外からはるばるお越しいただき、あるいは御多忙の中、国内各地から御出席いただき、最新の知見を披露いただきました。厚く御礼申し上げます。

また、大勢の皆様方に、3日間に渡る各テーマの討議に熱心に御参加いただきました。お陰様で盛大かつ多くの成果を上げ、本シンポジウムを終えさせていただくことができたものと、心から感謝申し上げます。

多様で複雑な内分泌攪乱化学物質問題をときほぐしていくには、まだまだ科学的知見が不足しており、幅広い研究分野の方々の積極的な参加と協力が不可欠であります。5回目を迎えた本シンポジウムの議論を通じて、内分泌攪乱化学物質問題に関する研究の進展に確かな足取りを感じる次第です。

この間、大変な御苦勞を頂きました同時通訳の皆様、開催準備にあられた皆様に御礼申し上げますとともに、広島県、広島市をはじめとする関係の皆様方の御協力に感謝申し上げます。

申すまでもなく、国民の安心と安全の確保は、環境省の重要な使命であり、今後とも、内分泌攪乱化学物質問題を始めとする化学物質対策に、一層積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

来年の本シンポジウムにつきましては、12月3日から5日の日程で、仙台市で開催したいと考えております。最後に今後とも本問題に対する、皆様方の一層の御理解と御支援をお願いして、閉会の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。